

学年	高校 3 年	教科	英語	科目	論理・表現Ⅲ	単位数	4
教科書名		Vision Quest English Logic and Expression（数研出版）		副教材名	・ CLOVER 英文法語法ランダム演習 標準レベル(450)（数研出版） ・ Reading Core 3（啓隆社）		
コース・クラス		N 進理系					

I. 目標

1. 高校3学年9月実施の日大基礎学力到達度テストでの文法問題や会話問題の正答率70%以上を目指す。
2. 卒業時までには実用英語検定2級以上及びCEFR B1～B2レベルの英語力の習得を目指す。

II. 授業のねらい

1. 日大基礎学力到達度テストや私大問題では、文法項目がランダムに配された問題が出題される。そのような問題に正しく解答することができるように、どのポイントが問われているのかを即座に見抜く力を身に付けさせる。
2. 文法、イディオム、会話表現、語彙に関して日大基礎学力到達度テストや私大入試問題で問われる表現の知識を増やし定着を図る。
3. 自分の苦手な文法項目や出題形式を把握し、そこを中心に復習させることで弱点をつぶして実力を伸ばす。
4. 副教材を活用し、精読力や限られた時間の中で多くの文章を読むことができる速読力の向上を促す。
5. 学習指導要領に謳われ、かつ日大基礎学力到達度テストや大学入学共通テストで問われる「目的に合わせて必要な情報を読み取る力」、「書き手の意図を理解する力」、「概要や要点をとらえる力」、「論理的な文章を構成する力」、「資料を読み、考察する力」、「情報を整理しながら読む力」、「文章を要約する力」を養成する。

III. 授業の進め方

1. 各レッスンで構成されている問題(四択、正誤指摘、会話問題や整序英作文など)に解答する時間を与える。
2. 生徒の理解や知識の定着の度合いに応じて、基本的な英文法・語法を確認しながら、各問題を解く際に必要なポイントを重点的に解説する。
3. 週に数回程度230語程度の英文を読んで問題に解答する時間を設ける。
4. 解答の根拠がどの英文なのかを中心に解説する。
5. 定期的な小テスト、課題提出を課す。

IV. 学習上の留意点

レベルに応じて教科書や副教材以外の問題に取り組む。

V. 定期試験

1. 授業で扱った内容、指定した教材の範囲から主に出題する。
2. 初見実力問題を一部出題する。
3. 日大基礎学力到達度テストと同じ問題形式で一部出題する。
4. 学習した内容の理解と定着の確認、さらに実践力を高める機会となるように意図して作成する。
5. おおよその試験範囲
 - 1学期 中間試験 : Lesson1～4、第1回～第6回、初見実力問題
 - 1学期 期末試験 : Lesson5～8、第7回～第12回、初見実力問題
 - 2学期 期末試験 : Lesson12～15、第18回～第24回、初見実力問題

VI. 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物の提出状況と内容、授業の取り組み方などから総合的に評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	※日大基礎学力到達度テスト対策	定期試験 小テスト 提出物	・英文法・語法問題で問われているポイントを見抜いて、解答できるようになる。
	5	【CLOVER】 Lesson1～4 【Reading Core 3】 第1回～第6回		・四択問題や正誤問題において正しく解答するために注意すべき各文法項目の基本事項や重要項目、問われているポイントを理解する。 ・同義語句の選択または記述問題では、頻出の語彙や語法の使い方が分かるようになる。
	6	【CLOVER】 Lesson5～8 【Reading Core 3】 第7回～第12回		・整序問題は、対応させる和訳と英語表現との表現方法の違いに注意しながら、英文法・語法、語彙などの総合的な実力を運用して解答していく力を付ける。 ・広告、記事、グラフやチラシなどの多種多様な英文を読むことを通して実践的な英語の読解スキルを身に付ける。
	7	<夏休みの課題> 【CLOVER 残り全て】 (Lesson9～15) 【Reading Core 3】 (第13回～第17回)		・解答後、間違えた問題や知らなかった語彙や表現、文法事項について復習をし、知識や理解を定着させて次回には正しく解答することができるようになる。

一 学 期	9	※日大基礎学力到達度テスト対策 【CLOVER】 既習項目をランダムに演習 【Reading Core 3】 第 18 回～第 24 回	定期試験 小テスト 提出物	・英文法・語法問題で問われているポイントを見抜いて、解答できるようになる。
	10	到達度テスト以降は、英検 2 級の 取得などに向けた授業に切り替 える。		・四択問題や正誤問題において正しく解答するために注意すべき各文法項目の基本事項や重要項目、問われているポイントを理解する。
	11			・同義語句の選択または記述問題では、頻出の語彙や語法の使い方が分かるようになり、確実に定着させる。
	12			・整序問題は、対応させる和訳と英語表現との表現方法の違いにも気づきながら、英文法・語法、語彙などの総合的な実力を運用して解答していく力を付ける。
				・広告、記事、グラフやチラシなどの多種多様な英文を読むことを通して実践的な英語の読解スキルを身に付ける。
				・解答後、間違えた問題や知らなかった語彙や表現、文法事項について復習をし、知識や理解を定着させて次回は正答できるようにする。

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。